

他者の意見を受容し、根拠に基づき思考・判断をしながら、話し合うことのできる児童の育成

— 「聴くこと」「認めること」「自覚すること」の
三つの視点からのアプローチ

長期研修員 岸 顕司

研究構想図

他者の意見を受容し、根拠に基づき思考・判断をしながら、話し合うことのできる児童

目指す児童の育成に向けて三つの手立てを提案します。



根拠に基づいて話し合う態度

思考・判断

異同の認識

手立て③
学級活動(1)
「自覚すること」に働き掛ける振り返り活動



手立て①
学級活動(2)
「聴くこと」に働き掛ける話し合い活動



手立て②
短学活
「認めること」に働き掛ける継続的活動



聴く

補完

認める

互いに認め合う態度

児童の実態

- 話し合いがうまくまとまらない。
- どの意見がよりよい意見か、吟味する話し合いにならないことがある。

新学習指導要領解説 特別活動編

- 他者の意見も受け入れつつ、自分の考えを主張できるようにする。
- 異なる意見や考えを基に、解決方法を模索したり、折り合いを付けたりできるようにする。

手立て① 「聴くこと」に働き掛ける話し合い活動

〔年度当初〕 聴くことの実感する話し合いと意識を喚起する意思決定

活動内容

話を聴かずに困ったこと

次にやること
が分からない。



やることを
間違えた。

- クイズと話し合い
 - 聴くことの実感
- 行動目標の意思決定
 - 聴くことへの意識喚起

児童の意識

「相手のことがよく分かるね」
「授業の内容がよく分かるね」



〔その後〕

手立て② 「認めること」に働き掛ける継続的活動

よいところ探しに「聴き手」役をつくり表示札で意識化

活動内容

3人グループ



よいところを伝える



聴き手

話を聴いて
意思表示する

そうだね！よく
頑張ってるよね。

または

へえ、そうだったんだ！

児童の意識

当番を忘れずに
やってえらいな。

相手も嬉しそう。
もっとよさを見付けよう。

- ・相手と自分を重ねて聴く
- ・肯定的に評価される嬉しさ

相手を認める
態度

手立て③ 「自覚すること」に働き掛ける振り返り活動

成功体験の自覚で根拠に基づく話し合いのよさを認識

活動内容

成功体験
(話し合い)

振り返り

自覚

教師がよさを称賛



今日は理由が
言えたから、
印を付けよう。

理由をはっきり
させることが
大切なんだな。

児童の姿

議題：親子行事で行うこと

家族も喜び、皆の意見も生きるの、折り紙にメッセージを書き、気持ちを伝えるのはどうですか。

その意見
いいね。

振り返りによる自覚

根拠に基づいて
話し合う態度

〔繰り返し〕

成果

手立てを継続することで、友達を認める態度を育むことができた。友達の意見を大切に、根拠に基づいて判断するようになった。

課題

話し合いのプロセスに目を向けたり、出された意見の根拠に目を向けたることができるように、振り返りの項目を精選する。

提言

聴くことを意識する活動から始め、よいところ探しに「聴き手」役をつくり、表示札で意識化させることと、成功体験の自覚で根拠に基づく話し合いのよさを認識させることを繰り返し行えば、話し合い活動が充実していきます。